安芸太田町観光協会（tourism association）通信 第57号

広島県山県郡安芸太田町大字上殿632番地2（道の駅来夢とごうち内） ☎28-1800

着任のご挨拶

安芸太田町観光協会
専務理事兼事務局長 上野宣浩（うえの のりひろ）

平成28年４月１日より安芸太田町観光協会専務理事兼事務局長に就任しました上野宣浩です。簡単ではありますが、自己紹介を兼ねて本年度の観光協会が目指す指針などをお話しさせていただきます。

私は、東北地方山形県米沢市、米沢駅の東口に隣接する久保町で1960年７月12日に生まれました。皆様もＴＶなどで知っておられるとは思いますが、伊達政宗の出生地です。上杉藩の町、上杉景勝、直江兼続、前田慶次、上杉鷹山、米沢牛、米沢織、米沢ラーメンなどで知られる米沢は、安芸太田町と気候がよく似ており、夏は猛暑、冬は豪雪という地域で雪かきは日常生活の中にありました。

１月末に安芸太田町の雪かき体験に参加させていただいたとき、非常に懐かしく思い出されました。というのも18歳で米沢興譲館高校を卒業以来、名古屋、静岡、東京、香港、上海などを転勤で転々とし、なかなか地元に帰省できず雪との触れ合いも長らく忘れていたのです。雪かきビジネスに取り組む安芸太田町で雪かきを楽しめるようになりたいと思います。

前職の大和証券グループ本社、SMBC日興証券などでは数多くの上場企業発掘、証券ビジネス、海外投資事業などにかかわってまいりました。直近は上海市へ本拠地を移し主に日系企業への人事サポートや中国企業の組織改革、東アジアへの海外投資誘致などの業務に従事しました。

さて今回、安芸太田町に来る直接のきっかけになったのが、吉田前事務局長企画によるWebを利用した事務局長の全国公募でした。世界中を瞬く間に駆け巡るインターネットを通じ、上海にいた私にも届き、美味い広島の水と食べ物に吸い寄せられるように移住を決めました。今後は中国出身の家内も安芸太田町の皆様に教えをいただきながら地域活性の最前線として働いてまいりますのでよろしくお願いいたします。

３月21日には三段峡Re-Bornシンポジウムと、吉田前事務局長と河内地域おこし協力隊員を送る会が皆様のご厚意のもと盛大に行われました。

退任した彼らの「地域を活性化させるために最適な方法を模索、行政、町民、町外を巻き込み前に進める」という信念は次の体制でも必ず受け継ぎますのでご安心ください。

４月１日から安芸太田町観光協会は新体制がスタート、新体制は事務局長の上野宣浩、小田康俊と中野次子、柏崎真司、増田国幸、地域おこし協力隊の中国地方最年少道の駅長の河野宏史、インバウンド担当の服部美樹子、道の駅購買部門担当　鈴木恵美、小坂香織のメンバーで協会運営に取り組んでいきたいと思います。

そして、新体制の安芸太田町観光協会指針は以下のとおりです。

清く正しく美しく　言葉の通りです。

三方良しの事業展開（観光客、町民、町）それぞれが恩恵を受け潤うことを目指します。

米百俵の精神　教育は100年先の町の基を作ります。人を作ります。

なせば成る、なさねば成らぬ何事も、成らぬは人のなさぬなりけり

最後になりますが、今後100年間、安芸太田町が潤うことができる強いブランドの確立に取り組んでまいりますので、町の皆様のご支援とご協力をよろしくお願いいたします。